



音楽を通して認知症を考える

参加無料[★]

認知症に対する音楽の効果は、回想法としてのメロディー、歌詞の回想、リズム、テンポを感じて身体が動く、能動的に歌う奏する、等での BPSD に対する効果はエビデンスが揃いつつあります。今クリニックで行っているマンツーマンでの音楽療法では、その患者さんに合った曲、テンポ、リズム、音量、音質（楽器の変化も含む）を有効に使うことで、患者さんが今の思いや状況を音楽コミュニケーションの中でとても自由に表出されます。ここから見えてくる患者さんの力、思いをお話して、これをどう受け止め生活に生かしていけるかを皆様と模索したいと思います。

日時 平成 30 年 12 月 11 日（火） 14:30 ~ 16:00

定員 50 名

対象 市内の介護保険サービス事業者の職員

講師 飯塚 三枝子 先生

会場 京都認知症総合センター 地域交流センター

JR 宇治駅
より
徒歩 3 分

お申込み方法



- ①左記QRコードもしくは、
<https://www.takedahp.or.jp/recruit/trainingform/> からお申込みください。
- ②先着順になりますので締切日以降に受講証を送付いたしますので当日会場にお持ちください。
- ③定員の数に限りがございますので、1事業所2名までのお申込みといたします。ご了承ください。



社会福祉法人悠仁福祉会
京都認知症総合センター

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻 36-35